

白洲正子

大津市勤労福祉センター講座

かくれ里・十一面観音巡礼 紀行

白洲正子の名作「かくれ里」「十一面観音巡礼」から白洲正子が感じたものを探り出すと共に、日本文化の深層、日本人の持つ感性の継承について語ります。



金勝寺
(こんしょうじ)

I 金勝山をめぐって 近江と南山城を結ぶ神仏

金勝山には古くから湖南地域の仏教の中心寺院として栄えた「金勝寺」や山中に佇む「狛坂摩崖仏」があります。白洲正子は「金勝の里」を歩き、ここが南山城、大和とのつながり深い所であることを知ります。近江から南山城を結ぶ文化の魅力について語ります。

II 「油日の古面」と 「油日から櫟野へ」

かくれ里の原点を再訪する

III 近江西国巡礼 1

岩間寺、石山寺、園城寺

IV 近江西国巡礼 2

宝巖寺、長命寺、観音正寺



金勝山
(こんぜさん)

日時：9月4、25日、10月23、30日（水）

時間：13:30～15:30 費用：3600円 全4回（資料代含む）

講師：大沼芳幸 定員：60名 場所：大津市勤労福祉センター

大津市勤労福祉センター 大津市打出浜1-6 電話 077-522-7474 FAX 077-522-7500

438_otsukin@house-bs.co.jp

電話、FAX、メールにてお申込み下さい。ホームページをご覧ください。